

【苦情及びご意見・ご要望内容及び結果の公表】

(1) みずほひじり保育園

■苦情の申し立て

件数	受付内容	対応
1件	特定の子どもがいつも泣いている。先生が怒って廊下に出してガラス戸をしめていることがあった。	関係職員への聞き取り調査を実施し、代表会議を行って、同様のことがないように周知徹底を行いました。 また特定のお子様ที่安心して保育園生活を送れるよう、適切な援助方法を検討しました。

■その他のご意見・ご要望

平成30年度はありませんでした。

(2) 東松原保育園

■苦情の申し立て

件数	受付内容	対応
2件	子どものストロー付き水筒のストローが切れていた。職員が切ったのではないか。	ストローを職員が切った事は事実ではないことをご説明し、ご自宅の水筒を持ってきて欲しい事をお伝えした。 来年度からはストロー付き水筒は3歳児クラスまでとし、それ以上のお子さんには臨機応変に対応する事を話し合い、保護者に懇談会のときに説明をさせていただきました。
	子どもの靴の裏に猫の糞がついていた。	ご意見を受けて、職員に周知をし、入室の際には職員が子どもの靴の裏を確認して靴箱に入れるようにしました。また、猫の糞対策には今まで以上に気を付けて確認しています

■その他のご意見・ご要望

件数	受付内容	対応
1件	熱性痙攣を予防する座薬を預かり、38度になったら挿入して欲しい。	今後の課題としては真摯に受け止め、検討して行きますと伝えたくうえで、お薬は預かりますので、37.5度になりましたら、ご家族の方にご連絡をさせていただきたいとお伝えしましたが、ご納得はいただけませんでした。 その後、職員には、消防署の方に来ていただき、熱性痙攣の対応の研修を実施しました。